

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター きらり直方		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数) 2名	
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数) 2名	
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 1事業所	(回答数) 1事業所	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職(作業療法士)による訪問	園での子どもの様子を観察させていただいたが、日頃から適切に関わっていただいているため、大きな助言というよりは情報共有を中心に連携を図った。	園の保育方針を尊重し、現場の負担にならない支援提案を心がけている。また、観察結果を具体的な声かけや環境調整として分かりやすく伝え、継続的な情報共有を行っている。
2	書面にて報告を行うとともに、個別訓練の際にその結果を丁寧に共有している	報告内容が一方的な伝達にならないよう、分かりやすく簡潔にまとめ、園や保護者が日常の中で活かせる具体的な内容を意識している。	訪問後の報告をさらに充実させるため、保護者や関係機関の意見も取り入れた情報共有が必要である。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	直方市においては、保育所等への訪問に関する情報の周知が十分に行われていない状況	事業所からの広報不足や制度内容の理解が十分に進んでいないこと、また広報や連携に充てる体制が十分でないことが挙げられる。今後は計画的な情報発信と関係機関との連携強化が課題である。	改善に向けては、保育所や学校等への定期的な周知・説明の機会を設け、分かりやすい資料や事例を活用して支援内容を具体的に伝えることが必要である。また、関係機関との情報交換を積極的に行い、継続的に広報できる体制を整えることが重要。
2	保育園やセンターにはそれぞれ年間を通して多くの行事や予定があるため、日程の調整が難しい	年間行事予定表を事前に共有していただき、行事等と重ならないよう早めに日程調整を行っている。また、繁忙期を避けて訪問計画を立てるなど、円滑に連携できるよう意識して取り組んでいる。	年間行事予定を早期に把握し、できるだけ前倒しで日程調整を行うことが必要である。また、候補日を複数提示していく。さらに、定期的に連絡を取り合い、調整しやすい関係性を築くことが重要である。
3			